会 議 録

会議名	第4回まちづくり委員会		
開催日時	平成20年5月29日(木) 午後6時30分~8時30分		
場所	消防署小会議室		
出席者(敬称略)	(委員) 垣内勝司、根橋久子、野沢宏明、牛丸喜美子、小澤一智、三堀善業、原美子、遠藤清文、倉田英勇、熊谷久司 、赤羽武栄、山寺恭子、中谷一美 (町) 宮原(修)、宮原(利)、翠川	委員	出席人数 13人
欠席者	(委員)小林代治	町	3人
(敬称略)		計	16人
会議次第 	 開会 委員長あいさつ 協議事項 (1) ワークショップ テーマ A 「協働のまちづくりの課題を見つけよう」		
会議結果	○ワークショップ結果 (別紙1 · 2)		
	○次回のテーマについて 「今、何をするべきか」○次回委員会		
	平成20年6月30日(月) 午後7時00分〜		
発言者	平成20年6月30日(月) 午後7時00分〜 発言の内容		
発言者			
発言者 委員長	発言の内容		
	発言の内容 開会		
	発言の内容 開会 あいさつ	5動きのひ	とつではないかという
	発言の内容 開会 あいさつ ・配布資料(信濃毎日新聞「斜面」)の説明 この資料は、まちづくり・むらづくり・地域づくりの代表される		•
	発言の内容 開会 あいさつ ・配布資料(信濃毎日新聞「斜面」)の説明 この資料は、まちづくり・むらづくり・地域づくりの代表される 事で紹介しました。辰野町にも地域のために働いたり、知恵を出	出しているは	地域もたくさんありま
	発言の内容 開会 あいさつ ・配布資料(信濃毎日新聞「斜面」)の説明 この資料は、まちづくり・むらづくり・地域づくりの代表される 事で紹介しました。辰野町にも地域のために働いたり、知恵を出 すが「協働のまちづくり」という大目になると果たしてどうだる	出している! ろう、みん:	地域もたくさんありまなが「協働のまちづく
	発言の内容 開会 あいさつ ・配布資料(信濃毎日新聞「斜面」)の説明 この資料は、まちづくり・むらづくり・地域づくりの代表される 事で紹介しました。辰野町にも地域のために働いたり、知恵を出 すが「協働のまちづくり」という大目になると果たしてどうだる り」という目標のために進んでいるかな?と考えると疑問が残る	出しているが ろう、みんだ るところで	地域もたくさんありま なが「協働のまちづく あります。特にアパー
	発言の内容 開会 あいさつ ・配布資料(信濃毎日新聞「斜面」)の説明 この資料は、まちづくり・むらづくり・地域づくりの代表される 事で紹介しました。辰野町にも地域のために働いたり、知恵を出 すが「協働のまちづくり」という大目になると果たしてどうだる り」という目標のために進んでいるかな?と考えると疑問が残る トに住む人達とのつながりが問題だという事を歴代の区長から	出しているが ろう、みん? るところで も聞いた事	地域もたくさんありまなが「協働のまちづく あります。特にアパー 事があります。軽井沢で
	発言の内容 開会 あいさつ ・配布資料(信濃毎日新聞「斜面」)の説明 この資料は、まちづくり・むらづくり・地域づくりの代表される 事で紹介しました。辰野町にも地域のために働いたり、知恵を出 すが「協働のまちづくり」という大目になると果たしてどうだる り」という目標のために進んでいるかな?と考えると疑問が残る トに住む人達とのつながりが問題だという事を歴代の区長から も同じような問題がありアンケートを採ったという事でありま	出しているは ろう、みん? るところで も聞いた事 すが、この「	地域もたくさんありまなが「協働のまちづく あります。特にアパー 事があります。軽井沢で
	発言の内容 開会 あいさつ ・配布資料(信濃毎日新聞「斜面」)の説明 この資料は、まちづくり・むらづくり・地域づくりの代表される 事で紹介しました。辰野町にも地域のために働いたり、知恵を出 すが「協働のまちづくり」という大目になると果たしてどうだる り」という目標のために進んでいるかな?と考えると疑問が残る トに住む人達とのつながりが問題だという事を歴代の区長から	出しているは ろう、みん? るところで も聞いた事 すが、この「	地域もたくさんありまなが「協働のまちづく あります。特にアパー 事があります。軽井沢で
	発言の内容 開会 あいさつ ・配布資料(信濃毎日新聞「斜面」)の説明 この資料は、まちづくり・むらづくり・地域づくりの代表される 事で紹介しました。辰野町にも地域のために働いたり、知恵を出 すが「協働のまちづくり」という大目になると果たしてどうだる り」という目標のために進んでいるかな?と考えると疑問が残る トに住む人達とのつながりが問題だという事を歴代の区長から も同じような問題がありアンケートを採ったという事でありま	出しているは ろう、みんだ るところで も聞いた事 すが、この「 す。	地域もたくさんありまなが「協働のまちづく あります。特にアパー 事があります。軽井沢で 問題が解決されればま
	発言の内容 開会 あいさつ ・配布資料(信濃毎日新聞「斜面」)の説明 この資料は、まちづくり・むらづくり・地域づくりの代表される 事で紹介しました。辰野町にも地域のために働いたり、知恵を出すが「協働のまちづくり」という大目になると果たしてどうだったり」という目標のために進んでいるかな?と考えると疑問が残る トに住む人達とのつながりが問題だという事を歴代の区長からも同じような問題がありアンケートを採ったという事でありまちづくりの大きなシンボルにもなっていくのではと感じていまっ	出しているは ろう、みんだ るところで も聞いた事 すが、この「 す。	地域もたくさんありまなが「協働のまちづく あります。特にアパー 事があります。軽井沢で 問題が解決されればま
	発言の内容 開会 あいさつ ・配布資料(信濃毎日新聞「斜面」)の説明 この資料は、まちづくり・むらづくり・地域づくりの代表される 事で紹介しました。辰野町にも地域のために働いたり、知恵を出すが「協働のまちづくり」という大目になると果たしてどうだるり」という目標のために進んでいるかな?と考えると疑問が残るトに住む人達とのつながりが問題だという事を歴代の区長からも同じような問題がありアンケートを採ったという事でありまちづくりの大きなシンボルにもなっていくのではと感じていますまちづくり委員会の中には、歴代の区長さん達もいらっしゃるの	出しているは ろう、みん? るところで も聞いた事 すが、この! す。 ひで、良い?	地域もたくさんありまなが「協働のまちづくあります。特にアパー あります。特にアパー 事があります。軽井沢で 問題が解決されればま 知恵や具体的な解決策
	発言の内容 開会 あいさつ ・配布資料(信濃毎日新聞「斜面」)の説明 この資料は、まちづくり・むらづくり・地域づくりの代表される 事で紹介しました。辰野町にも地域のために働いたり、知恵を出すが「協働のまちづくり」という大目になると果たしてどうだり」という目標のために進んでいるかな?と考えると疑問が残るトに住む人達とのつながりが問題だという事を歴代の区長からも同じような問題がありアンケートを採ったという事でありまちづくりの大きなシンボルにもなっていくのではと感じていままちづくり委員会の中には、歴代の区長さん達もいらっしゃるのが出せればいいなと思っています。	出しているは ろう、みん? るところで も聞いた事 すが、この! す。 ひで、良い?	地域もたくさんありまなが「協働のまちづく あります。特にアパー 事があります。軽井沢で 問題が解決されればま 知恵や具体的な解決策

ワークショッ プ	前回に引き続き、委員を2グループ(A・Bグループ)に分け、ファシリテーター(A:垣内委員長、B:牛丸委員)の進行によりワークショップを実施。 テーマをAグループ「協働のまちづくりの課題を見つけよう」Bグループ「協働を理解するためには何が必要か?」とし、最後に両グループ作業結果を発表した。 成果物は別紙1・2
A委員	〈Aグループ発表〉
	別紙1のとおり
B委員	〈Bグループ発表〉
	別紙2のとおり
委員長	協働ということを文書化したり、評価することは非常に難しい。道路や橋なら方法を考えればい
	いが、協働のなかの精神的な部分をどうするか。また、これまでのような縦割りの行政だけではで
	きない部分をどうするかという問題がある。そうかといって何もしないわけにはいかない。
	「協働」という言葉も浸透したのか最近は紙面等でも「まちづくり」や「地域づくり」というように
	「協働」という言葉をあえてつけない傾向にあるように感じます。また、支援金事業の影響でお金
	がつく、つかないによって判断されてしまっているようにも感じます。
委員長	次回は「今、何をするべきか」というテーマでワークショップを行います。
事務局	次回の委員会は6月30日 (月) 午後7時00分から行います。
	時間・会場が変更となりますのでご注意ください。
副委員長	閉会

テーマ「協働のまちづくりの課題を見つけよう」

テーマを決めよう!

テーマを見つける知識UP

まちづくりについて 町民は知らないでいる

町→区長会・リーダー →住民→活動する(起案)

統一テーマを決めて町民に流す テーマは1つとは限らない

- ①郷土の歴史と文化をまとめる
- ②食について

区単位でテーマを選択する

具体的にどんなことをするかを考え 支援金の要請を出す

町全体として進み具合・調和をみる

前回のAグループのワークショップ であがってきたものを①と②に 分けると

- ① • 9
- ② • 4

どちらにも 6

協働のまちづくりについてグループ的に活動している団体があると聞いている。 辰野に今、必要とされているものは何か他の意見を参考にしながらまちづくりの テーマを決めることが必要だと思う

社会情勢の中からまちづくりを考える ○ 高齢化

少子化

町の資金不足

農地の荒廃

協働のまちづくりとは住民の力で住みや すいまちづくりをすること お祭り的な活性化も必要だが、住民皆がこ れだという絞り込みが必要

協働について → 不十分 テーマに基づいて PR努力をする

短期の事業でなく長期的に地域の活性化 に関わるものを探す

リーダーさんと一緒にやるよ! (リーダーの養成)

推進リーダーの養成が必要

立ち上げるためのリーダーが必要 まずは金額でないがあめ玉でスタートを 考える

(基礎を固めるため)

ボランティア的要素が地域の活性化につ ながる

考え方のPR 〜 リーダーを養成する

区長会の活用が不十分 実践現場に一番近い区長に十分情報を提 供するべき

みんなに参加してもらいたいなぁ

住民の参加意欲を高める方策を見つける

制度の活用を周知徹底(検討) 支援金事業などがあるうちは十分に幅広 く使うべきだ 協働のまちづくりに対する住民意識不足

不参加者の意見を聞く

町民の協働に対する意識が十分でない

PRの必要性とその方法

協働のPR

たつの町広報に協働のまちづくりページ を継続的にもうけるべき

行政の窓口をもっと明確にさせる必要が ある 町民の理解を促す企画を知らせる 動機付けが必要 意識をもたせる方法

NPO・企業などに定期的に情報提供 まだまだ協働が理解されていない

PRの必要性とその方法

各種事業の種類と開催回数を多くする

協働のまちづくりに対する住民の意識不足

人口増加に向けてアパートは歓迎すべき その住民との協働をどのように進めるか を考え、協力し合うべきだ 地域コミュニティはすばらしい実例がたくさ んあるがこれらをまとめること (連合会など の組織) が行われていない 〈Bグループワークショップ結果〉

テーマ 「協働のまちづくりを 理解するためには何が必要か?」

協働を知る事が大切 (学びの場を作る PRをする)

「協働ってなあに?」 ほたるチャンネルでスポットコマーシャル を流す

(例) 〜あなたがまちづくりの主役です〜

町民が協働を進めている事を知らないのでよりPRに力を入れる

各戸に協働のパンフレット配るのは簡単だが、読むかどうかが問題 PRにはなると思う

「協働だより」を出す。広報に「協働のコーナー」設ける。

「協働」の存在を知らせる事になる

広く知らせる事につながる

「有線」「ほたるチャンネル」「町のホームページ」を使いPR (実際に協働を行っている所に出向いてる)

小さな単位で「協働」という言葉を聞く事が 大切。協働について学ぶ場が少ない

「協働」の学習会前に寸劇やコントなどを入れ、楽しく気を入れてもらえるように工夫

小さな単位で話し合う方が理解しやすい

(例) 岡谷市民債を出したらしいが、町民 が出資するシステムは可能なのか。

読んでもらえるもの (ホームページ、資料) などの作り方に工夫を

「協働」の心を育てることが必要

目的を達成するのに

①協力できるか ②人任せにするか

→ 助け合いの精神

問題に協力して一緒に知恵を出して動く

「道普請」などの続いている事業は、「役員」 だからやっている部分ではあるが、それも 良い事である

「協働」は家庭の中から (助け合いの精神をもとう) 「今日はどんな「協働」をしたかな」と考え、 家庭で話してみる

「協働」を理解する

心が広く美しいのも協働に関係する

「協働」とは、作業だけではない。「心」「精神」 など形にあらわれないものがある

協働=皆で働く作業の中で楽しみをつかむ 井戸端会議 「協働」とは何か理解する

今までは「協働」というのは、町にお金がないから協働でやらないと進まないと理解 していた。「結い(助け合い)」の精神こそ 協働ではないか

行事などに「参加」することで「協働」を」知る事と実際に自分も参画することになる

協働には

- ①「働く作業」②「助け合い」
- の2つあることを知ることが大切

障害者と他の人が協力し合うには話し合い が必要

参加してもらうため、仲間作りを進める

どんな事でもまず参加することから始まる でしゃばりではないことを理解する

家庭の中でも子供や年寄りも参加するよう 声をかける

町全体でやるテーマを作る。 辰野町では、いつでもどこでもやっている 「協働」ということで、声掛け、花壇作り等 がそれにあたる。

自分だけでやるのではなく、周囲の人に手 伝ってもらう。そして感謝の言葉を忘れな

周囲の人を引き込む

声をかけ、手伝ってもらう中で「聞くこと により役だっている」という意識を持って もらう。